鬼行列

神輿のお渡りに供奉し、悪疫退散と五穀豊穣を祈念する鬼行列は、三百有余年の伝統を今に守る、全国他に類を見ないものです。鬼町と呼ぶ四つの町で伝承し、二つの行列で編成しています。

一つは元禄年間に始まったと伝えられる役行者を中心とした「役行者列」、もう一つは寛政年間に始まったとされる鎮西八郎為朝を中心とした「鎮西八郎為朝列」です。 桃山時代から江戸後期にかけて製作された、能面を始めとする面を被り練り歩く鬼行列は、観る人々を幽玄の世界に誘います。

役行者列

鬼町四町の内、上野相生町、上野紺屋町、上野三之西町で構成しています。かつて紺屋町には寿福院（現、松本院）と言う修験寺院があり、藩祖藤堂高虎の信仰も篤く、高虎が晩年眼を患った時、大峰山に眼病平癒祈願を行い、この返礼として能面「阿古父尉」を寄進されたと伝えられています。

町衆はこの能面を被り、天神祭に大峰山峰入りの姿を再現したと言われ、これが役行者列のモチーフとなっています。元禄年間（1688～1704）に上野天神祭に加わっていたと思しき記録が残っています。

●大御幣

高さ二十一尺重さ三十貫、日本最大級の御幣は、鬼行列の先頭を行く、役行者列の印です。陰陽五行に基づき中央の心柱に白、四方の柱には東方に青、南方に赤、西方に黄、北方に黒の彩色を施し、それぞれの柱に五大明王を勧請（かんじょう）し、これを五人の男衆で担ぎます。

大御幣(おおごへい)

先頭は悪鬼と呼びます。悪という字には「強い」という意味が込められています。狩衣を着、静かな所作ですが、袂で隠された顔は、完全に鬼となり蛇体と化した真蛇の形相。

八天、小さな鬼達ですが、野山を駆け巡る神々や精霊の面影が見えます。寺院の練り供養に登場する四天。前鬼・後鬼を追う形で、義玄を従え、行列の主役である役行者が来ます。法衣を纏い、手に錫杖、一本刃の高下駄という出で立ちです。釣鐘を背負い、経典を入れた笈を背負い、大斧を担ぐ四体のひょろつき鬼、その実は天狗や神々です。行列の最後尾から道一杯にひょろつきながらやって来ます。恐ろしくもユーモラスな動き、大人は笑い、子どもを泣かせます。

鎮西八郎為朝列

鬼町四町の内、上野徳居町が担う、鎮西八郎為朝（源為朝）を中心とした行列で、先頭より先達鬼、小鬼、脇立鬼、四天王と続き、これらを従えて為朝が登場します。藩主藤堂高虎の伊賀入部に従い伊賀に入った、為朝の子孫である系譜を持った安並氏と言う武士の考案により、源為朝の仮装を始めたという説があります。保元の乱の後、伊豆大島に流刑された為朝が、近くの鬼ヶ島に棲む鬼の頭領を成敗し、凱旋したという故事にちなんだものと伝えられています。為朝は身の丈七尺の大男。「五人引き」の強弓の名手と謳われ、弓矢を手に鬼行列の最後尾を飾り、威風堂々と町中を練り歩きます。

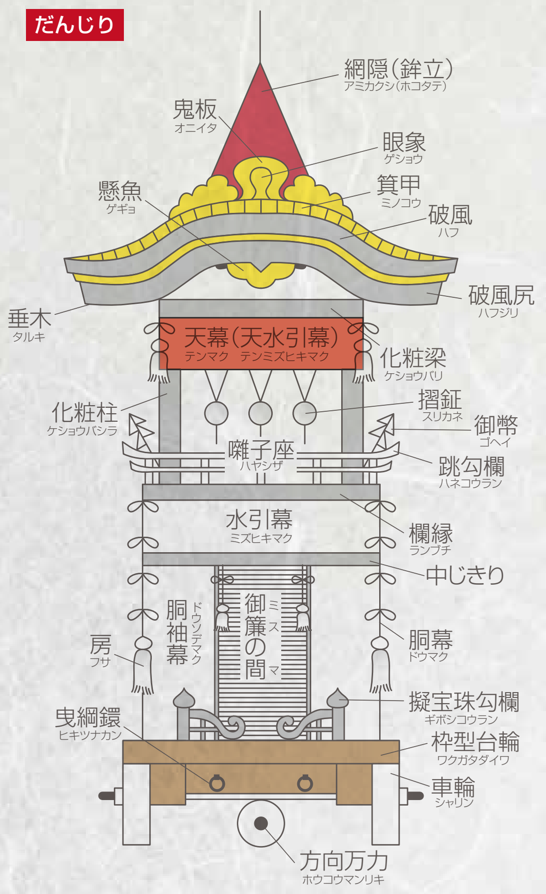
●鬼王剣先

藩主藤堂高虎の家来として伊賀に住んだ安並氏。鎮西八郎為朝列の印である鬼王剣先は、安並氏の守刀として代々受け継がれたと言われる大刀「鬼王丸」をモチーフとした剣先の下に真木を繋いで鉾と見立て、鉾の周囲に壇を設けて幕を掛け、舁山とした形態です。かつては男衆四人で担いでいましたが、現在は印方四人による曳山としています。

●出陣式

鬼町の一つ、上野徳居町では、お祭りの挙行を祝うと共に、行列の無事を祈念して、足揃儀の日、出発前に出陣式を行っています。三献の儀に習い、三つ肴は「打ち鮑」「勝ち栗」「昆布」。打って勝って喜ぶ、を意味します。為朝役の「エイ・エイ・オー」の発声に町衆が合わせ、お祭りへの士気 を一気に高めます。古来より行われていた出陣式は一時期途絶えていましたが、1970 年代に復興しました。平成 14 年(2002)、国重要無形民俗文化財に指定されたのを契機に式次第を見直し、現在の形態になっています。

だんじり



上野天神祭

上野天神祭は400年余りの歴史を有し、関西三大祭りの一つに数えられています。平成29年より、祭りの開催曜日が変更され、「25日までの直近の日曜日」となりました。今年は10月23日(金)・24日(土)・25日(日)の開催です。神幸祭（本祭り）の25日は終日、神輿・鬼行列・だんじりが行列を組み上野の街を巡行します。

この天神祭は国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

上野天神祭　公式サイト
https://ueno-tenjin-matsuri.jp/

令和８年９月20日
編・発行　上野文化美術保存会
三重県伊賀市上野新町2713
上野西部地区住民自治協議会
教育文化芸術部会

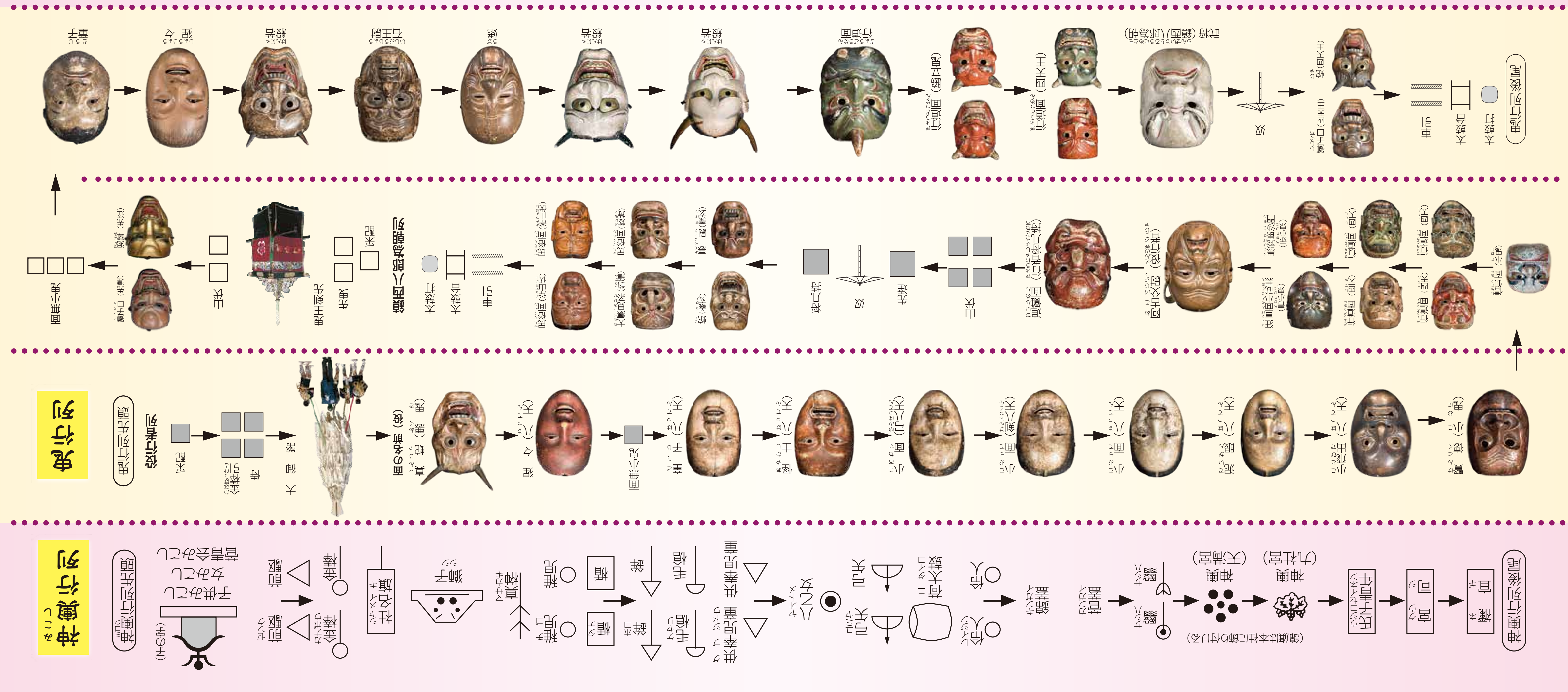
※この冊子は、（公財）岡田文化財団の助成を受けて作成致しました。

Ueno Tenjin Festival 2026 UNESCO Intangible Cultural Heritage

上野天神祭

国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」

令和8年 10月
23日(金) 宵々山
24日(土) 足揃えの儀・宵山 鬼行列・だんじり巡行
25日(日) 神幸祭(本祭り) 神輿巡幸・鬼行列・だんじり巡行

鬼・だんじりリアルタイム位置情報配信ページ▼

令和8年 10月
24日(土) 宵宮祭
25日(日) 例大祭